

令和元年度
石狩浜海浜植物保護センター活動報告（案）

石狩市環境市民部

石狩浜海浜植物保護センター

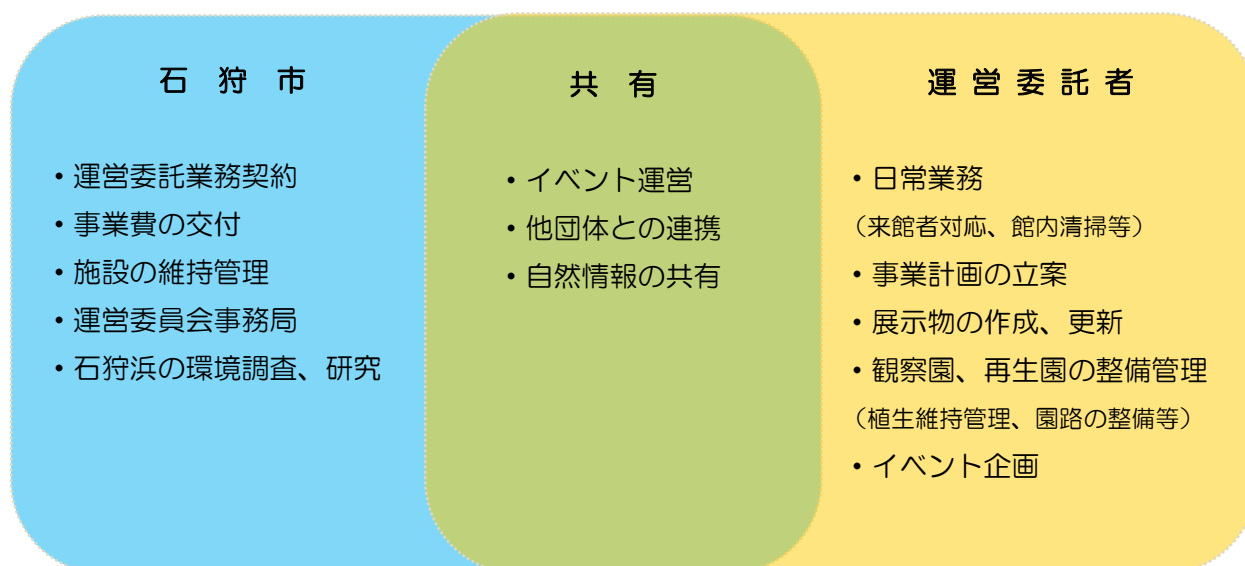
目 次

事 業 概 要	・ ・ ・ ・ ・ 1
1. 普及啓発活動	・ ・ ・ ・ ・ 2
2. 調査・研究	・ ・ ・ ・ ・ 17
3. 自然観察園の整備	・ ・ ・ ・ ・ 18
4. ハマナス再生園の整備	・ ・ ・ ・ ・ 20
5. 環境整備事業	・ ・ ・ ・ ・ 21
6. 来館者数	・ ・ ・ ・ ・ 22
7. 保護・回復対策	・ ・ ・ ・ ・ 23
沿 革	・ ・ ・ ・ ・ 25

事業概要

石狩浜海浜植物保護センターは、将来にわたって自然豊かな海辺環境を残していくため、石狩浜の植生及び海浜生態系の保全を目指し、海岸利用者や市民への普及啓発、海浜生態系や海岸利用に関する調査研究、植生の保護・回復対策などに、市民、研究機関と協働で取り組んでいます。平成 29 年度より、更に施設機能を充実させ、市民が地域の宝として認識し、保全活動等への市民参加を促進していくために施設業務の一部を市民団体へ委託することになり、本年度も石狩浜の普及啓発活動等に取り組まれている「NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ」に運営委託をしました。

令和元年度は、運営受託者による事業計画が立案され、「Ⅰ. 人と自然をつなぐ」「Ⅱ. 次世代と自然をつなぐ」「Ⅲ. 地域と自然をつなぐ」「Ⅳ. 自然情報を未来へつなぐ」を運営活動の目標として、保護センター施設内外での普及啓発活動や情報発信などが行われました。



石狩浜海浜植物保護センター運営業務分担

1. 普及啓発活動

1-1. 石狩浜ハマナス再生プロジェクト

石狩浜は、近年のバギー車等の植生域への侵入や、砂丘の安定化による内陸性の植物の侵入など、様々な要因によりハマナスなどの海浜植物が失われつつありました。そこで、石狩浜海浜植物保護センターでは、石狩浜の原風景の再生を目指し、平成 25 年度に「石狩浜ハマナス再生プロジェクト」を立ち上げました。本プロジェクトの一環として、当センターの隣接地 7,000 m²を「ハマナス再生園」とし、ハマナスの苗移植（280 本）、移植後の除草作業、散策路づくりに取り組みました。日常的な作業のほか、市民ボランティアや再生プロジェクト参画企業に参加いただくイベント（ハマナス Healthy タイム等）として作業を実施しました。移植用のハマナス苗づくりは、苗を預かって自宅で育てていただく「はまなすサポーター」を募集し、協力いただきました。また、広く普及啓発を図ることを目的に、「はまなすフェスティバル」や「はまなす広場」などのイベントを開催し、多くの方々にハマナスの咲く石狩浜の魅力を感じていただきました。



ハマナス再生園の全景（2019 年 8 月上旬）

■第7回 はまなすフェスティバル

内容：今年も石狩浜海浜植物保護センターを会場に、ハマナスの開花時期に合わせて開催されました。施設内外ではハマナスをテーマにした体験コーナーや実演、ハマナスグッズやクラフトの出展、展示、カフェ、観察園でのクイズラリー・ハマナスサポーターへの苗配布などが行われました。関連イベントでは、「香りのモーニングツアー」や「はまなすの蒸留水でシロップづくり」が開催され、ハマナスの花の咲くこの季節ならではの魅力を深めていただきました。ハマナス再生園で実施した「育てハマナス！雑草抜き体験」では、子どもから大人までが参加し、大いに賑わいました。今回も多くの方々がスタッフやボランティアとして準備や運営にご参加いただき、盛会となりました。

開催日時：令和元年6月15日（土） 10:00～15:30

会 場：石狩浜海浜植物保護センター

来場者数：520 人

主 催：はまなすフェスティバル実行委員会

協 力：一般社団法人石狩観光協会、石狩天然温泉番屋の湯



■はまなす広場 ～とことん秋のハマナスを楽しもう～

内容：石狩浜海浜植物保護センターを会場に、石狩本町地区で最も人が集まる「石狩さけまつり」と同日（2日目）に開催し、秋のハマナスをとことん楽しんでいただく企画となりました。第7回いしかり海辺の自然フォトコンテストの作品展、クラフト（リース・ポプリ・切り絵等）やハマナスグッズの出展、観察園でのクイズラリー、ハマナスタネの数当て大会などが実施されました。関連イベントでは、「ローズヒップツアー ハマナスの実をあつめてシロップ作り」や、石狩さけまつり連動企画「自然ガイドツアー」も開催されました。さけまつりに訪れた多くの方々にご来場いただくことができました。

開催日時：令和元年9月22日（日） 10:00～15:00

会 場：石狩浜海浜植物保護センター

来場者数：870 人

主 催：はまなすフェスティバル実行委員会

協 力：一般社団法人石狩観光協会、石狩天然温泉番屋の湯





■ハマナス再生園に関する活動

◎ハマナス Healthy タイム・Motto time

内容：ハマナス再生園内の除草作業や移植作業など、市内外の方々からハマナス再生作業にご参加いただきました。Healthy タイムには、作業後にお茶会が設けられ、サポーター同士の交流を深める場になりました。作業後は、石狩天然温泉番屋の湯のご協力により参加者へ当日入浴券をご提供いただきました。今年度は道民カレッジ連携講座への登録も行い、昨年度よりも参加人数が増加しました。

主催：はまなすフェスティバル実行委員会

協力：石狩天然温泉番屋の湯

《ハマナス Healthy タイム》

開催日	参加人数	茶話会提供者
5月9日（木）	12人	はまなすフェスティバル実行委員会
6月13日（木）	13人	The St Monica
7月11日（木）	10人	お茶の土倉
9月12日（木）	9人	La table verte
10月10日（木）	12人	後藤商店

《Motto time》

開催日	参加人数
5月23日（木）	1人
6月27日（木）	4人
8月22日（木）	12人
9月26日（木）	9人



ハマナス再生作業の様子（除草、苗の移植）

◎はまなすサポーター

登録数：253人（令和元年度新規登録者数 66人）

ハマナスの苗の配布数（4/1～11/3）：苗 100株

■第7回いしかり海辺の自然フォトコンテスト

内容：全国的にも希少になりつつある自然海岸を色濃く残した石狩浜の魅力を広く発信するため、「いしかり海辺の自然フォトコンテスト」を開催しました。今年度からは、石狩市長賞を、はまなすフェスティバル実行委員会賞に改めました。応募作品は、すべて市内外の各所で展示会を行い、多くの方々にご覧いただきました。

募集期間：4月29日～7月31日

応募作品数：32点



展示の様子（石狩市役所ロビー）

≪開催期間および場所≫

令和元年 9月23日（月・祝）～11月3日（日）：石狩浜海浜植物保護センター
11月12日（火）～11月19日（火）：花川北コミュニティセンター
12月3日（火）～12月10日（火）：花川南コミュニティセンター
12月16日（月）～12月27日（金）：石狩市役所1階ロビー

令和2年 1月28日（火）～2月7日（金）：札幌エルプラザ1階情報センター
2月14日（金）～2月21日（金）：石狩市民図書館エントランス

≪受賞作品≫

● グランプリ賞



朝倉拓雄さん 〈互いの赤色〉

● 準グランプリ賞



長友逸郎さん 〈晩夏〉

● 準グランプリ賞



近藤俊六さん 〈子育ての浜〉

● はまなす賞



下村捷二さん 〈成熟〉

● 実行委員会賞



白畠 徹さん 〈ヒバリの故郷「はまなすの丘公園」〉

1-2. 石狩海岸の保全と啓発に関する協働事業 (NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ協働事業)

石狩市協働事業提案制度に基づき平成 23 年度に採択された、NPO 法人いしかり海辺ファンクラブとの協働による「石狩海岸の保全と啓発に関する事業」(提案制度は平成 23～26 年度)について、引き続き取り組みました。

■パンフレット「未来に残そう石狩海岸の自然」配布

内容:石狩海岸利用者マナー(カントリーコード)パンフレットをレジャー利用者等に配布しました。

実施日:7月20日(土)

参加者:9人

配布数:20部



1-3. 石狩浜海浜植物保護センター啓発事業

常設展の更新および企画展、体験行事、野外での観察会等を開催しました。実施にあたり、社会教育施設や市民団体との共催や協力により内容を充実させました。

(1) 展示(場所:石狩浜海浜植物保護センター)

■常設展・クラフトコーナー

常設展では、開設当初の展示の流れを活かし、特に、来館者が自発的に自然のしくみを学び、発見の場となることを目指し、海浜特有の環境と動植物の関わりに重点を置いた展示に更新しました。

《主な更新・変更点》

- 石狩浜の海浜植物と自然環境との関係性に着目した展示に更新
- 石狩浜の海浜特有の生態系を紹介するコーナーの新設
- 石狩浜の散策時の見どころや旬の自然情報、海浜植物等保護地区に関する情報の更新
- ネイチャークラフトコーナーの充実（石狩浜で採取した貝殻、石、海浜植物などクラフトに用いる材料の紹介等を工夫）



海浜植物と自然環境との関係性にも触れた展示に更新



石狩浜に暮らす生き物の繋がりに着目した模型展示の新設



施設内（展示スペース）の様子①（9月24日）



施設内（展示スペース）の様子②（9月24日）

■企画展の開催

●「春のどんぐり展」

開催期間：4月29日（日・祝）～5月6日（月・祝）

内容：カシワのどんぐりと生き物との関わり、ブナ科にみるいろいろなどんぐりなどを紹介しました。

●保護センターの夏休み 2019

①「石狩浜の砂、どうしてこんな色？」

②「マウちゃん顔出しパネル」の設置

期間：7月26日（金）～8月25日（日）

内容：石狩浜の砂の由来や色の正体について、鉱物の展示や顕微鏡で実際に観察するコーナーなどを設けて紹介しました。

■期間展示の開催

- 「石狩浜の花ごよみ 2018」

主催：石狩浜定期観察の会

開催期間：4月29日（月・祝）～5月31日（金）

内容：はまなすの丘公園で観察した動植物の写真を展示しました。

- 「第7回いしかり海辺の自然フォトコンテスト」応募作品展

主催：はまなすフェスティバル実行委員会

開催期間：9月23日（月・祝）～11月3日（日・祝）

内容：石狩海岸のハマナスに代表される動植物や自然風景を撮影した応募作品を展示しました。



夏季の企画展示、観察・体験コーナー、マウちゃんの顔出しパネル

■その他

- 館内外の案内図・外壁看板の表示等を更新
- 館内持ち歩きマップの作成、観察園マップの更新
- シンボル塔からみた観察園・再生園の展望情報の充実



外壁看板の案内

(2) 自然教室・観察会、啓発情報発信等

■学び支援（自然教室等）

- 「作って飛ばそう うみかぜ体験 たこたこあがれ！」

講師：全日本スポーツカイト協会北海道支部メンバー

開催日：5月5日（日） 10:00～12:00

参加者：11人

参加費：500円

内容：石狩浜で凧揚げを実施しました。

- 保護センターの夏休み 2019

「石狩浜ネイチャークラフト体験」（展示連動企画・自由研究コーナー）

開催期間：7月26日（金）～8月25日（日）

内容：常設のクラフトコーナーに加えて、企画展「石狩浜の砂、どうしてこんな色？」に連動した体験コーナーを設置しました（砂絵作り、砂鉄採取、顕微鏡による砂の観察）。

- 「流木で鳥をつくろう」
日時：7月28日（日） 10:00～12:00
参加者：7人
参加費：1個300円
内容：石狩浜の流木や貝殻などを材料に、石狩で見られる鳥の置物を作りました。
- 「石狩浜の思い出をジェルにつめよう！」
日時：7月28日（日） 13:00～14:30
参加者：11人
参加費：500円
内容：石狩浜周辺で拾える貝殻・石・ビーチグラスなどを用いた瓶詰作りを行いました。
- 夏休み体験教室「テンキグサを編む」
日時：8月3日（土） 10:00～16:00
参加者：6人
参加費：無料
内容：テンキグサの葉を編んで、「小かご」や「ミニチュアのカンカン帽」を作りました。
- 「クレイアート粘土で海辺のお花を作ってみよう」
日時：8月10日（土） 10:00～12:00
参加者：7人
参加費：1個300円
内容：石狩浜のハマナスを観察し、紙粘土でハマナスの花を再現しました。
- 「夏休みちびっこ自然ハイキング」
日時：8月11日（日） 10:00～12:00
参加者：3人（1組）
参加費：1組300円
内容：石狩浜でネイチャーゲームをしながら散策しました。
- 「体験！ハマナスを一緒に育てよう」
日時：10月18日（金） 10:00～12:00
参加者：3人
参加費：500円
内容：ハマナスの育成を楽しみながら栽培するための体験講座を行いました。
- 「海浜植物でハーバリウム作り」
日時：10月20日（日） 10:00～12:00
参加者：2人
参加費：1,500円（材料費）
内容：石狩浜にみられる海浜植物等を用いたバーバリウムを作りました。

■連続講座「いしかり海辺の自然塾」

内容：石狩海岸の自然を通年で学べる体験型の連続講座として新たに開催しました。

対象は主に大人、いずれも平日に実施しました。

（希望の回のみ受講可。参加費：各 500 円。）

●「イソスミレと海浜植物芽吹きを観察会」

日時：5 月 22 日（水）10:00～12:30 参加者：7 人

内容：石狩川河口を歩き、春の花や芽吹きの様子を観察しました。

●「石狩海岸砂丘の観察会」

日時：6 月 19 日（水）10:00～13:00 参加者：8 人

内容：ハマナスやエゾスカシユリが咲き競う砂丘草原を歩きました。

●「望来海岸の観察会」

日時：7 月 17 日（水）10:00～12:30 参加者：9 人

内容：メノウやビーチグラス、貝化石などを探し地形を観察しました。

●「海浜植物種子と石狩川河口の観察会」

日時：8 月 28 日（水）10:00～12:30 参加者：8 人

内容：侵食と堆積を繰り返す河口のダイナミックな砂丘を観察しました。

●「カシワ林と砂丘の観察会」

日時：9 月 18 日（水）10:00～12:30 参加者：6 人

内容：カシワ林から海岸草原、砂浜まで、砂丘の成帯構造を観察しました。

●「石狩海岸自然概論」

日時：10 月 16 日（水）10:00～12:00 参加者：4 人

内容：石狩海岸の自然に関して講義と展示から学びました。



観察会の様子（2019 年 5 月 22 日）



観察会の様子（2019 年 8 月 28 日）

(3) その他

■教材の作成

施設内をクイズや体験を取り入れて学ぶワークシート〈石狩浜 わたしの「みっけ!」: 1. 砂丘の成り立ち編〉の作成に取り組みました。

1-4. 教育機関等の施設利用

幼稚園や小中学校等教育機関による学習活動の一環として、9件の保護センターの利用がありました（表1-1）。

表 1-1 令和元年度 保護センターの学校等利用状況

	日 時	学校・学年	大人	子ども	備考
1	6月27日(木)	花川小学校 3年生	2人	40人	環境教育プログラム
2	7月8日(月)	花川北陽幼稚園	4人	35人	環境教育プログラム
3	8月26日(月)	石狩小学校 3年生親子レク	10人	9人	環境教育プログラム
4	9月10日(火)	花川北陽幼稚園	4人	35人	環境教育プログラム
5	9月12日(木)	石狩中学校 1年生	2人	24人	環境教育プログラム
6	9月21日(土)	樽川中学校 3年生	1人	4人	壁新聞の取材
7	10月9日(水)	石狩小学校 5年生	1人	10人	環境教育プログラム
	団体数	7団体			
	大人 人数計	24人			
	子ども 人数計	157人			
	合 計	181人			

1-5. 事業協力・ブース出展

連携事業や地域ネットワークに関する事業を中心に出張講座及び講師派遣として、参加や協力を行いました。

■イベント

●石狩本町「春のスタンプラリー」

期間：4月29日(月・祝)～5月6日(月・祝)

主催：石狩観光協会

●北の里浜 花のかけはしプロジェクト

参加：石狩中学校2年生

日程：種まき作業 5月21日(火)

移植作業 7月23日(火)

苗の観察 10月8日(火)

会場：石狩中学校

内容：関上海岸（仙台）の海浜植物の種まき、育苗、移植など
被災海岸の現状等を学ぶ

参加人数：21人（生徒：20人 教員：1人）

主催：北の里浜 花のかけはしネットワーク

●札幌芸術の森美術館「テオ・ヤンセン展」連動企画

「テオのビーストを呼ぼう 石狩浜の風の中へ」

後援：石狩市

日時：8月4日(日) 第1部 13:30～15:00 第2部 15:30～17:00

会場：石狩市の海岸 あそびーち中央イベント会場

（記念品の受渡し会場：石狩浜海浜植物保護センター／来館数：552人）

主催：「テオのビーストを呼ぼう 石狩浜の風の中へ」実行委員会

●いしかりガイドボランティアによる弁天歴史通り除草作業の協力

実施日：7月4日(木)

●北の里浜 花のかけはしプロジェクト

参加：石狩中学校3年生

実施日：9月14日(土)・15日(日)

会場：宮城県名取市（名取市関上海岸ほか）

内容：海浜植物の植栽、被災地での交流など

参加人数：6人（引率教員1人含む）

主催：北の里浜 花のかけはしネットワーク

●トークイベント

「ウミベオロジー／石狩海辺学2019 一海辺・ウミヘビ・龍神様一」

主催：いしかり館ネットワーク

日時：9月28日(土) 16:00～17:30

会場：紀伊國屋書店札幌本店 1階インナーガーデン

講師：徳田 龍弘 氏（両生類爬虫類ライター・フォトグラファー）

坂本 恵衣 氏（いしかり砂丘の風資料館 学芸員）

参加人数：75人

●「第9回 科学の祭典 in 石狩」

主催：科学の祭典 in 石狩実行委員会

日時：11月24日(日) 10:00～15:00

会場：石狩市民図書館、こども未来館あいぽーと

参加人数（全体）：2,036人

ブース出展：「石狩浜の近くにある林～カシワ林ってなぁに？～」

（石狩浜海浜植物保護センター）

- 「第8回 CISE サイエンス・フェスティバル in チカホ」
主催：一般社団法人ちせ
共催：CISE ネットワーク運営委員会
日時：①1月9日（木）12:00～18:00
②1月10日（金）10:00～15:00
会場：札幌駅前通地下歩行空間（チカホ）「北3条交差点広場（西）」
参加人数（全体）：①1,075人 ② 617人
ブース出展：「みんなの知らない石狩浜」（石狩浜海浜植物保護センター）
- 「石狩湾から海の学びを考える！トランクキット体験時間～海の学びを考えるワークショップ～」
主催：北海道大学総合博物館
協力：イオンスーパーセンター石狩
日本財団「船の科学館 海の学びミュージアムサポート」
日時：①1月25日（土）
②1月26日（日）
①②10:00～15:00
会場：イオンスーパーセンター石狩緑苑台店
参加人数：①132人 ②303人
- はまなすの丘公園ビジターセンター展示
内容：石狩浜自然情報や石狩浜海浜植物保護センターを紹介する常設展示の更新
期間：4月29日～11月3日
場所：はまなすの丘公園ビジターセンター2階

■その他

- いしかり館ネットワーク事業協力
内容：①「夏の体験教室情報」の作製協力（市内小学校配布）
②石狩市民図書館内 館ネット展示コーナーの展示・情報更新
- CISE ネットワーク（事務局：北海道大学総合博物館）
内容：①「サイエンスターリング 2019」の参加
②トランクキット作製協力「石狩湾の自然環境」



石狩市民図書館内「館ネットコーナー」の展示



トランクキット「石狩湾の自然環境」

1-6. 施設利用

各種団体の利用状況では21団体の利用がありました（表1-2）。また、ボランティア団体として「石狩浜定期観察の会」「石狩自然案内人」による施設利用がありました。

表 1-2 令和元年度石狩浜海浜植物保護センター団体利用状況

	実施日	団体名	人数
1	4月30日（火）	NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ	35 人
2	4月30日（火）	いしかり UMIBE キッズクラブ	20 人
3	5月3日（金）	いしかり UMIBE キッズクラブ	26 人
4	5月15日（水）	短歌サークル「原始林」	30 人
5	5月22日（水）	ふらっとクラブ	11 人
6	6月2日（日）	ラブアースクリンアップ ごみ拾い	10 人
7	6月14日（金）	北海道教育大学札幌校地理学研究室	35 人
8	6月23日（日）	いしかり UMIBE キッズクラブ	16 人
9	6月27日（木）	手稲自然クラブ	12 人
10	6月29日（土）	エコ・ネットワーク	10 人
11	6月30日（日）	いしかり UMIBE キッズクラブ	15 人
12	7月3日（水）	奈良大学	5 人
13	7月8日（月）	岩手県立大学	8 人
14	7月14日（日）	歴史教育者協議会	8 人
15	7月24日（水）	しおん学園	11 人
16	7月24日（水）	紙ふうせん	20 人
17	7月25日（木）	UHB 大学第 30 期生親睦会	12 人
18	7月27日（土）	ひまわりルーム	12 人
19	8月2日（金）	放課後デイサービス らふと	10 人
20	8月4日（日）	はまひるがおネット	5 人
21	8月4日（日）	「テオのビーストを呼ぼう 石狩浜の風の中へ」スタッフ	40 人
22	8月8日（木）	石狩管内社会教育主事社会教育演習	19 人
23	8月24日（土）	いしかり UMIBE キッズクラブ	11 人
24	9月14日（土）	ピクニックライド石狩	8 人
25	9月29日（日）	いしかり UMIBE キッズクラブ	23 人
26	11月2日（土）	ひだまりていね児童デイサービス	12 人
27	11月3日（日）	いしかり UMIBE キッズクラブ/NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ	28 人
	合 計	21団体	452 人

1-7. 情報発信（刊行物・ホームページ等）

刊行物では、通信誌『はまぼうふう』65・66・67号を発行しました（表1-3）。保護センターホームページでは、行事情報や季節ごとの植物の様子などを中心に随時情報を更新しました。

令和元年度のホームページのアクセス数は、*****でした（表1-4）。ブログ「石狩浜観察日記」では、石狩浜の日々の自然豊かな様子や活動の様子について紹介し、随時更新しました。市民ボランティアによる石狩浜の自然に関する情報発信（表1-5）、保護センターを紹介するInstagramによる情報発信も行われました。

表 1-3 令和元年度刊行物発行状況

刊行物名	内 容
通信誌 『はまぼうふう』	石狩浜の自然情報や保護センターの行事予定などを掲載。 ・65号： 4月29日 発行 ・66号： 8月31日 発行 ・67号： 11月30日 発行

表 1-4 平成31・令和元年度石狩浜海浜植物保護センターホームページアクセス数

（単位：件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件 数	1,789	1,697	1,834	1,477	1,666	1,163

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件 数	1,023	813	771			

年間計 (4月～12月計)	(12,233)	月平均 (4月～12月計)	(1,359)
------------------	----------	------------------	---------

表 1-5 市民活動による情報発信

石狩浜定期観察の会	はまなすの丘公園内で撮影した季節の動植物の写真紹介（保護センター展示室、ビジターセンター2階、石狩市民図書館ホールで展示）。
花砂丘仕事人	保護センターの展示室に、石狩浜の開花状況などの情報を掲示。
花畔・網	保護センターの展示室に、石狩浜に関する情報を紹介。
いしかり UMIBE キッズクラブ	保護センターの展示室に、採取した昆虫標本を展示。活動成果の紹介。

1-8. 市内公園等での海浜植物栽培

保護センターでは、市民が身近に石狩浜の海浜植物等に親しめるよう、石狩市民図書館横に設置した花壇で栽培しました。

＜市街地公園花壇等への海浜植物栽培状況＞

場 所	海浜植物の種類
市民図書館横	エゾカワラナデシコ、イソスミレ、ハマボウフウ、ナミキソウ、エソスカシユリ、シロヨモギ、ハマナス、ハマハタザオ



石狩市民図書館横の花壇

1-9. 海浜植物種子の配布

来館者向けに配布した種子は5種110袋でした（表1-6）。

表1-6 海浜植物種子配布状況（単位：袋）

種 類	配布袋数
ハマボウフウ	30
ハマハタザオ	17
ハマエンドウ	13
ハマヒルガオ	21
エゾカワラナデシコ	29
合 計	110

1-10. 石狩浜の自然情報にかかわる収集・整理

過去に寄贈された植物標本や展示解説資料等の整理およびデータ作成を行ないました。

また、次年度に予定している「石狩浜思い出マッププロジェクト」の取組に向けた予備調査・検討を行ないました。

2. 調査・研究

これまでに発行した調査研究の報告および取組は一覧（表 2-1、表 2-2）のとおりです。

表 2-1 石狩浜海浜植物保護センター調査研究報告

報 告 書 名	号
石狩浜における植生モニタリング区の設置と 14 年間の植生変化（2002 年度調査）	1 号
石狩川河口湿地部における植生モニタリング区設置と植生概況（2003 年度調査）	2 号
石狩海岸林の植生概要（2004 年度調査）	3 号
石狩浜定期観察による植物開花状況の記録（2004/2005）	4 号
石狩浜定期観察による植物開花状況および野鳥の記録（2006）	5 号
聚富海岸の植生概況（2007 年度調査）	6 号
石狩浜定期観察による植物開花状況および野鳥の記録（2007）	7 号
1989 年以降に記録された石狩浜の植物種リスト	8 号
2008 年から 2010 年の石狩浜定期観察による植物開花状況等の記録	9 号
石狩川河口砂嘴における植生分布の変化	10 号

表 2-2 市民調査による自然情報集約

調査内容	備考
①イソスミレ生育調査	実施日：2018 年 5 月 9 日（水）、5 月 18 日（金） 参加者：のべ 25 人
②ハマボウフウ生育調査	実施日：2018 年 6 月 22 日（金）、7 月 25 日（水） 参加者：のべ 12 人

3. 自然観察園の整備

砂丘の植物の生態をより分かりやすく伝えるため、砂浜からカシワ林にかけて生育する海浜植物を区画ごとに配置し、一般の来館者への利用だけでなく環境学習での活用を図っています（図3-1）。

今年度は、特に館内展示と観察園との連動を重点に、看板や案内標識の設置を充実させました。また、観察して見つけた情報や発見を記録してポップに示す「観察園みーつけた！」の実施、「はまぼうふうの観察畑」の設置、植物にふれたり香りを楽しんだりしてもらう体感的な観察サポートなど、来館者が海浜植物を身近に親しむ観察園づくりに取り組みました。園内に小休憩の可能なテーブルや椅子を置くなど、来館者の観察しやすい環境づくりにも努めました。

園内の整備では、昨年度に引き続き、木道の老朽化修復、日常的な植物の剪定・除草作業を行いました。



図3-1 令和元年度自然観察園概況



自然観察園内（ハマナスの花ざかり）2019 年 6 月中旬



自然観察園内（ハマナスの実なり）2019 年 9 月中旬



「観察園みーつけた」のポップ



「はまぼうふうの観察畑」の様子

4. ハマナス再生園の整備

ハマナス再生園では、ハマナスの苗の育成や、観察・体験などの環境学習に活用される場として、日常的に園内の除草作業や区画標識の設置など、春季から秋季を通じた整備作業を行っています（表 4-1）。

園内でのハマナスの利用にあたっては、採取したハマナス花卉・果実の量を把握し、ハマナス再生を重視した維持管理に取り組んでいます。また、園内に試験区を設け、ハマナスを再生・活用するための手法の試験的な検討も行っています。

表 4-1 ハマナス再生園の整備作業（令和元年度／4 月～10 月）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
苗の育成		植替え		植替え		移植・植替え・播種	
	実生水やり			苗水やり			
			(計測)	(計測)		計測	
草刈		株間草刈		株間草刈		株間草刈	
		弁天・丘			弁天・丘		
除草（集中）	ブタナ・カモガヤ			ススキ・アキグミ			
除草（常時）		ブタナ・ヘラオオバコ・マツヨイグサ・ギンドロ・カモガヤ・ススキなど					
除草（参加型）		ブタナ	苗周囲	ヨモギ	イネ科 掘起	アキグミ	
園路除草			園路除草				
その他除草			建物周り		駐車場		温室周り
その他管理		施肥				剪定	
調査			開花結実調査				
				植生モニター区調査			



ハマナス再生園の入口（9 月上旬）



ハマナス再生園の苗移植（10 月）

5. 環境整備事業

石狩浜の自然に親しみやすい環境づくりのため、観察路の維持や外来植物の除去を行いました。

5-1. 海浜植物保護センター～弁天歴史公園散策路

保護センターから弁天歴史公園まで、ハマナス再生園やニセアカシア林を通して散策できるよう、毎年散策路の草刈りを行っています（図5-1）。

ハマナス再生園の園路と有機的につなげ、本町地区を訪れる利用者の利便性を図りました。



図5-1 保護センターから弁天歴史公園までの散策路

5-2. 外来植物等の除去作業

はまなすの丘の木道周辺は、多くの観光客や散策者が訪れ、石狩川河口の海浜植物群落の景観を楽しむ場所ですが、ニセアカシア、カモガヤなどの外来植物及び内陸性植物のススキ、アキグミが増加し、景観が損なわれつつあります。景観保全のため、木道周辺の外来植物等の除去に取り組んでいます。



景観保全作業の様子（2019年4月）

令和元年度も春と秋に景観保全作業を予定しておりましたが、秋については悪天候のため中止となりました。春の保全作業では、今回も企業の社会貢献活動をはじめ、多くの方にご参加いただきました（表5-1）。実施後には小樽海上保安部のご厚意により、石狩灯台の見学会が行われました。今後も継続していきます。

表5-1 令和元年度外来植物等の除去作業実施状況

実施日	参加者数	参加団体等
4月20日（土）	82人	小樽海上保安部、一般社団法人石狩観光協会、NPO法人いしかり海辺ファンクラブ、石狩市緑化推進協議会、石狩浜海浜植物保護センター運営委員会、NTT 東日本 CSR推進室、石狩浜定期観察の会、夢の木プロジェクト

6. 来館者数

令和元年度の開館期間中（4月29日～11月3日）の来館者数は8,638人でした（平成29年度来館者数10,021人、平成30年度来館者数8,531人）。平成30年度・令和元年度の来館者数の月変化と年度比較、平成12年度からの来館者数の年変化は、以下のグラフに示したとおりです（図6-1、図6-2）。

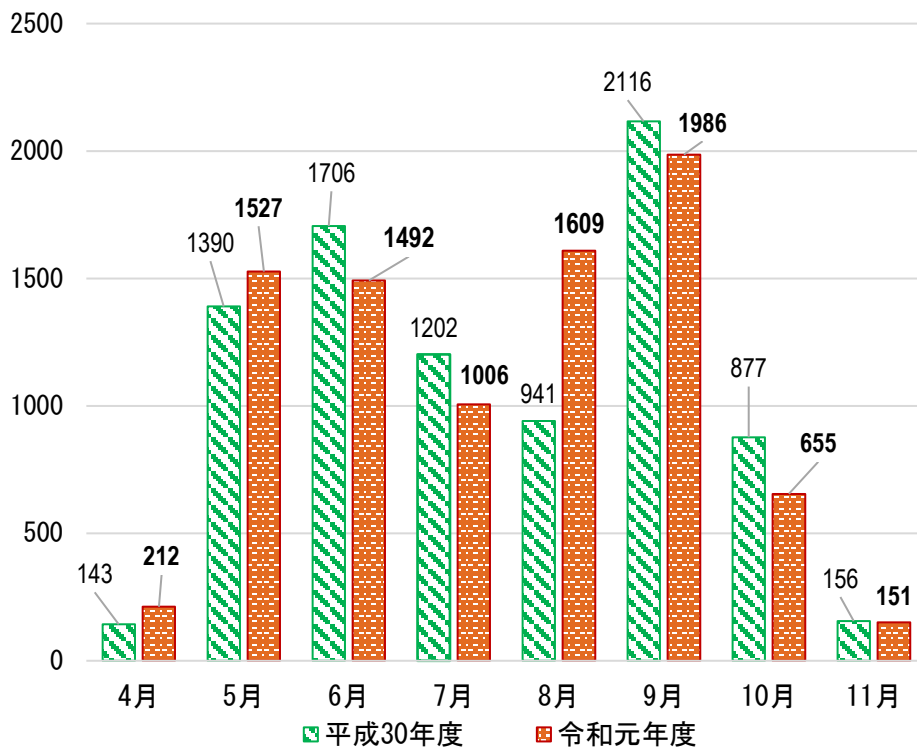


図6-1 平成30年度・令和元年度の来館者数の月変化と年度比較

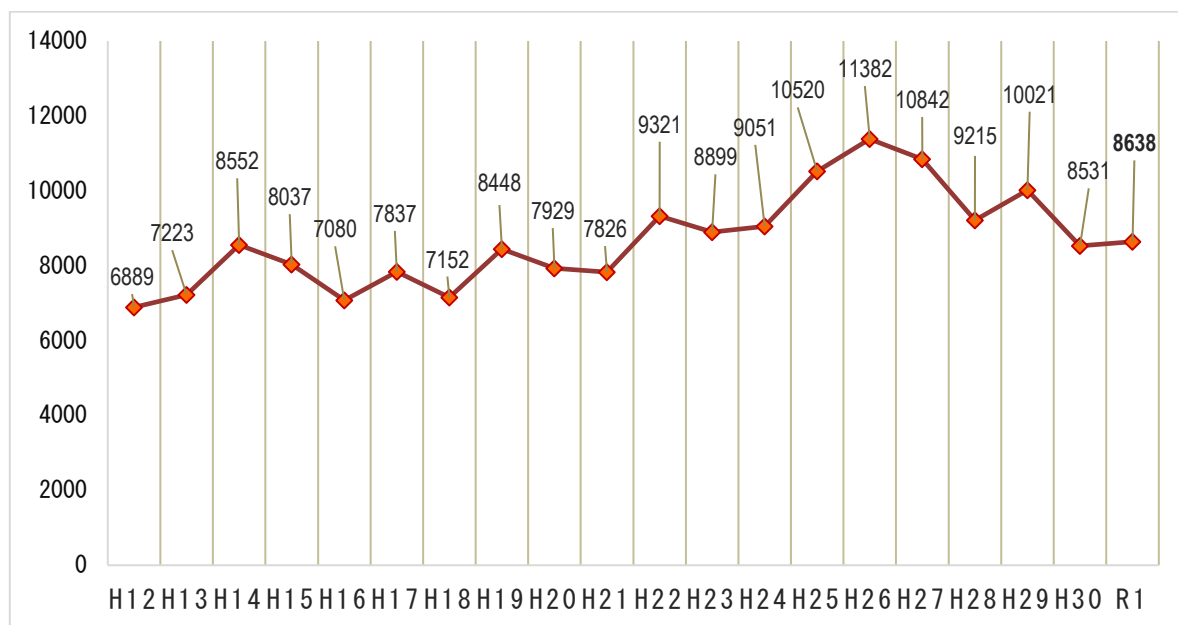


図6-2 平成12年度～令和元年度の来館者数の年変化

7. 保護・回復対策

7-1. 海浜植物等保護地区の監視

「河口地区」、「聚富地区」、「弁天地区」、「親船地区」において、4月から10月まで（聚富地区は5月から10月まで）監視員2人により、ハマボウフウなど海浜植物の採取や、バイク等の乗入れ等を防ぐための監視を行いました。

石狩川左岸側の「河口地区」、「親船地区」、「弁天地区」では、春先の4～5月はハマボウフウの採取者が多く、海水浴シーズンは、キャンプ等で保護区内に侵入する利用者が増える状況にあり、監視による抑止効果は大きいと思われます。

石狩川右岸側の「聚富地区」では、期間を通じて植物の採取や車両の侵入は見られませんでした。

7-2. 石狩浜海浜植物等保護地区（親船地区）の拡大

親船地区西端から石狩湾新港東側（三線浜）にかけての約2.6kmの海岸保全区域には、北海道空知総合振興局札幌建設管理部（旧札幌土木現業所）が、「石狩湾沿岸海岸保全基本計画」（平成15年、北海道）に基づき、平成17年より車乗り入れ防止柵を設置しています。この地域においては、サンドバギー車やモトクロスバイクの植生上への侵入が頻繁に確認され、特に石狩湾新港側から侵入していることがわかっています。海岸管理者は、ロープの補修等侵入防止対策を施していますが、侵入は後を絶たない状況です。

海岸管理者及び石狩市等からなる石狩浜環境保全連絡会議では、平成25年に指定した「弁天地区」・「親船地区」において、市条例に基づく保護地区指定の効果の検証を行い、効果が見られるようであれば、柵の強化対策に伴い段階的に当該地域へ保護地区を広げていくという方向性で一致しています。「親船地区」から西側（東埠頭側）に約1.2km、面積約15haの保護地区を拡大するにあたり、平成29年度に石狩市環境審議会へ諮問し、答申を受けました。平成30年5月1日施行により「親船地区」は27.0haに拡大され、保護地区全体の面積は54.3haとなりました。新たな区域にも看板や車両侵入防止柵の設置を行い、海岸植生等の保全に努めています（図7-1）。

治 革

石狩浜海浜植物保護センター開設の目的

石狩海岸地域は、北海道自然環境保全指針において「すぐれた自然地域」に指定されるとともに、大都市近郊において、海岸砂丘の生態系を色濃く残す自然海岸として、全国的にも大変貴重な地域となっています。しかし、美しい海浜植物や雄大な海浜景観は、レジャーをはじめとする過度な利用により、次第に失われつつあります。

このような状況において、豊かな海辺の自然を市民共有の財産として保全し、後世へ残して行くためには、市民、行政、研究機関とが協働して普及啓発活動や調査研究活動に取り組むことが不可欠です。石狩浜海浜植物保護センターは、その活動拠点として、平成 12 年 4 月に開設されました。

施設概要と業務内容

名 称 石狩浜海浜植物保護センター
所在地 石狩市弁天町 48 番地 1 tel.0133-60-6107 fax.0133-60-6146
規 模 敷地面積：11,244.1 m²
センター／木造 2 階建、延床面積：259.5 m²、建物高：10.9m
温 室／鉄骨造平屋建、延床面積：42.5 m²

施設は、①海浜植物の保護に係る調査・研究、②石狩浜保全への啓発、を目的としたもので、屋内は、大きく展示室と実験室、屋外は、温室と観察園、再生園に分かれています。

展示の方針は、来館者に海浜植物をはじめとする石狩浜の自然情報の提供や保全活動状況の紹介、作品展示などを行うことができる、更新性を備えた市民参加型の展示としています。また、展示室は研修機能を備え、フィールドと一体となった研修の場を提供しています。

観察園は、石狩浜に生育する海浜植物を一堂に集め、その生態観察の場となっています。また、再生園では、ハマナスを中心とした海浜植物の再生と活用の場として整備しています。

調査研究機能としては、保全に向けた海浜植物の生態研究のために、実験室、および研究対象植物を育成するために温室が備わっています。また、観察園の一部も、調査・試験区として利用することができます。

以下、保護センターにおける主要業務を示します。

○ 啓発・普及業務

展示施設・自然観察園・ハマナス再生園の整備・更新

施設見学者への対応

講座・観察会等の開催

市民に対する情報提供・機関紙の発行・ホームページの管理・運営

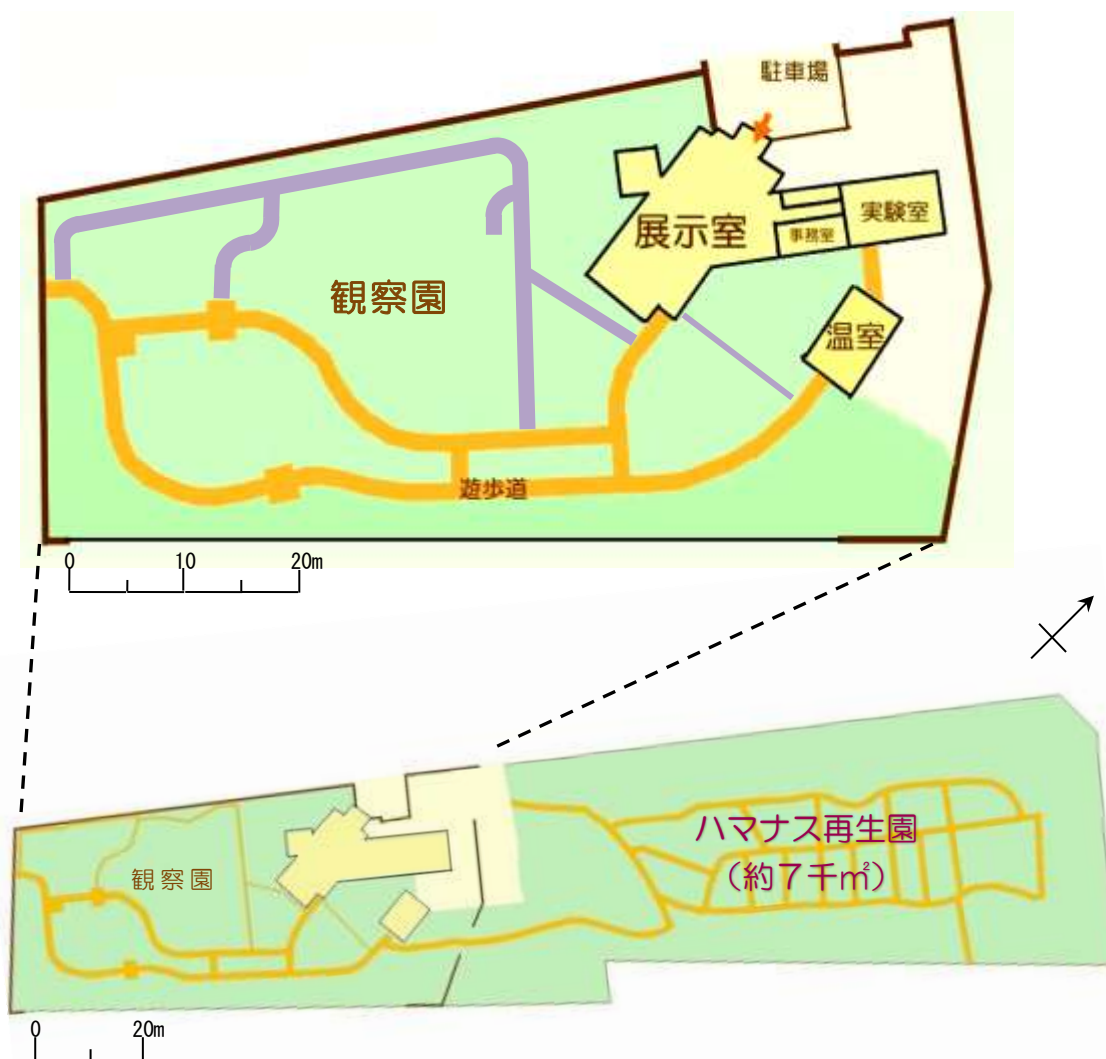
ボランティア・各種団体・研究機関との連絡調整

○ 調査・研究業務

石狩浜の動植物の生息、生育状況に関する調査

海浜植生の保全に係る調査研究と実施

海浜植物の保護・保全計画の立案と実施
ボランティアグループの調査研究活動支援



石狩浜海浜植物保護センター施設略図

施設の改修等

令和元年度は、観察園の木道（枕木）が老朽化してきているため、一部を改修し、利用者の安全性向上を図りました。

石狩浜海浜植物保護センター利用案内

開館期間 4月29日～11月3日
開館時間 9時～17時
休館日 火曜日（祝日の場合はその翌日）
入館料 無料
駐車場 あり
交通 北海道中央バス「札幌バスターミナル」
発「石狩」行き約60分「石狩温泉前」
下車徒歩5分



◆石狩海浜植物保護センター運営委員会名簿

(第 10 期：平成 30 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

会 長	松島 肇
副会長	安田 秀子
委 員	伊井 義人
委 員	溝渕 清彦
委 員	内藤 華子
委 員	石山 優子
委 員	渋谷 真澄
委 員	田畑 博
委 員	山田 春雄

令和元年度石狩浜海浜植物保護センター活動報告書（案）

令和2年●月発行

発 行 石狩市

編 集 環境市民部石狩浜海浜植物保護センター

開館期間中 〒061-3372 石狩市弁天町 48-1

tel.0133-60-6107 fax.0133-60-6146

冬季閉館中 〒061-3292 石狩市花川北6条1丁目 30-2

tel.0133-72-3269 fax.0133-75-2275

E-mail ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

HP <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/site/kaihinsyokubutu/index.htm>